

## 1 研究主題及び副題

研究主題	学び合い、高め合う集団を育む教育活動の研究
副題	生徒指導の機能を生かした「わかる授業」の実践を通して

## 2 主題設定の理由

### (1) 社会の情勢から

昨今の少子化や核家族化は、価値観やライフスタイルの変容をもたらすとともに、親世代の子育てに対する意識の希薄化を招く一因となっている。また、パソコンや携帯端末等に代表される情報化の急速な進展は、いつでもどこでも誰とでも容易に情報を交換できる利便性をもたらす一方で、よりよい人間関係を築くためのコミュニケーションスキルの習得の機会を奪うという問題を抱えている。加えて、物事に対する見方や考え方の多様化は、様々な価値観に触れるよさや可能性をもたらす一方で、「個性」の意味をはき違え、集団への所属感や規範意識の希薄化を招いている様相もある。

### (2) 教育の動向から

21世紀は、知識基盤社会の時代であり、児童生徒を取り巻く環境が大きく変化する中において、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を育成することが求められている。また、自分で考え自分で行動できること、その上で他者と協力して助け合いながら「生きる力」を身に付けることが重要であると言われている。

一方、生徒指導は、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導、援助するものである。また、学校が教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、児童生徒の人格の形成を図り、将来において社会的に自己実現ができるような資質・態度を形成していく上でも大きな役割を担っている。

### (3) 本校の実態から

昨年の研究では、チャイム黙想や立腰指導などの小中一貫した実践を通して、話を聞く態度が改善されたり、落ち着いて授業がスタートできたりと、児童生徒の姿に変容が見られ始めた。また、全職員による公開授業を実施し、教科や小中学部の垣根を超えて、授業について考え合うことができたことも大きな成果であった。一方で、生徒指導の機能を生かした授業づくりの手立てについては十分な研究を進めることができなかった。

そこで、本年度は、生徒指導の機能を生かした「わかる授業」づくりに関する実践に取り組むこととした。授業において、教師は、基礎的・基本的事項を重視し、教科の本質に基づく目標の達成に努めることが重要である。その中で児童生徒の興味関心を高め、学習意欲を引き出す指導技術を磨いていかなければならない。児童生徒の特性や学習集団の特徴を把握し、一人一人が主役になれる授業、互いに学び合える授業を構築していくことが、個々の自己肯定感を育み、自信となり、生きる力を培うことにつながっていく。ここに、「わかる授業」づくりと生徒指導との密接な関係がある。このような研究を進めていくことは、義務教育の入門期から卒業までを支える本校において、意義深いことと考える。また、このことを通して、本校の教育目標である「豊かな心をもち、賢く創造性に富んだ、たくましい日向市の子どもの育成」の実現を図っていきたい。

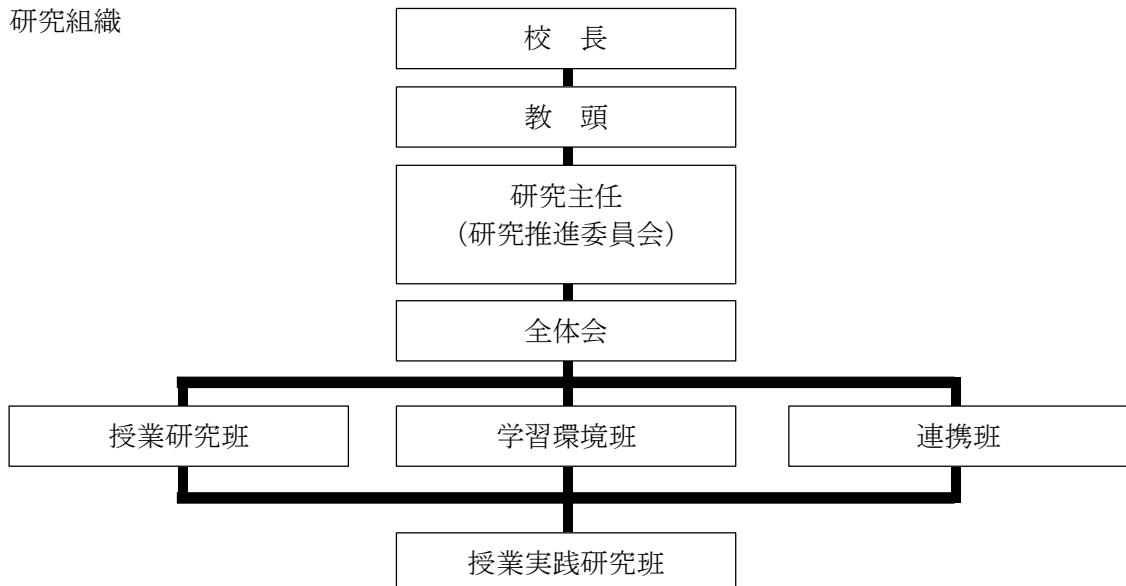
## 3 研究仮説

授業の中で生徒指導の視点を意識した指導過程や指導方法などの工夫を行い、「わかる授業」づくりを進めていけば、児童生徒の学習意欲が高まり、主体的な学びが生まれ、互いに学び合い高め合う集団への変容を図ることができるであろう。

## 4 研究内容

- 生徒指導の機能を生かした授業と「わかる授業」づくりの関連
- 「わかる授業」づくりにおける授業構成や教師と児童生徒の関わり
- 児童生徒が主体的に学ぶ学習環境づくり
- 「わかる授業」づくりの実践事例研修

## 5 研究組織



- 研究推進委員会・・・研究の内容や流れを検討する。
- 全体会・・・・・・・理論面での研修、研究内容の協議、方向性の検討などを行う。
- 授業研究班・・・・「わかる授業」づくりにおける1単位時間の進め方や教師の役割などについて研究する。
- 学習環境班・・・・学びの土台となる学習規律や学習に臨む心構え、振り返りの手立てなどについて研究する。
- 連携班・・・小中9年間のつながりを見据えた学習内容や公開授業の実践などについて研究する。
- 授業実践研究班・・・全体会、各班からの提案等を受けて、授業実践や仮説の検証を行う。

## 6 研修計画

月	日	曜	形態	内 容
4	5	木	全体研	昨年度の研究について、本年度の研究について
	27	水	全体研	研究の内容、研究組織の決定、研修計画
5	25	水	全体研	理論研
	1	水	全体研	理論研
	8	水	全体研	学校訪問における研究授業
6	29	水	全体研	研究授業の参観の視点や役割分担について
	6	水	全体研	研究授業の模擬授業
	14	木	全体研	研究授業（第8学年 英語）と事後研（学校訪問日）
7	22	金	全体研	学校訪問の振り返りと研究班について
	26	火	班研	各班の研究内容や具体的な取組について
	7	水	班研	2学期の実践内容と共通実践、公開授業について
9	21	水	班研	各班の実践
	5	水	全体研	公開授業と指導案形式について
	13	木	全体研	研究授業の事前研修（共通理解、模擬授業）
10	26	水	全体研	研究授業（第5学年 算数）と事後研
				公開授業（中学部）
	16	水	班研	各班の実践と報告、公開授業について
11				公開授業（小学部）
	21	水	全体研	公開授業の振り返り、班からの報告
12	1	水	全体研	研究の成果と課題、まとめ
	15	水	全体研	次年度の方向性